

環境配慮個票

事業名	農地中間管理機構関連農地整備事業	地区名	下ノ加江	受益面積	9.6ha
関係市町村名	土佐清水市	予定工期	令和2年度～令和5年度		
総事業費	191,000千円	R2年度以降事業費	191,000千円		
総事業量	区画整理工 9.6ha	R2年度以降事業量	区画整理工 9.6ha		
マスタープランの区分	環境配慮区域	自然公園等の指定	無		
既存資料による希少種の情報の有無	有 (H30 環境調査資料)				
周辺の環境	<p>高知県の西部に位置する本市は、北は四万十市と三原村、西は宿毛市と大月町に隣接しており、面積は226.34k m²で市のほぼ全域が足摺宇和海国立公園に含まれ、多くの観光資源がある。本市の産業としては黒潮が近くをながれていることもあり、水産業を基幹産業として発展してきたが、農業においても、潮風の当たる海岸近くである程度の標高があり、柑橘類に適した地形を活かし柑橘類の栽培が盛んに行われている。</p>				
地区の環境の特性	<p>・概況 下ノ加江地区は下ノ加江川水系市野瀬川の右岸沿いに展開する農地であり、地区の平均地形勾配は約1/200と緩やかで、地形上低湿地が多く水稻を中心とした農業経営が行われています。 近隣の水田地帯と同種の希少種が生育しており、その保全に向けた環境配慮を実施する。</p> <p>・植物：現地調査の結果、37科70種が確認された。また、特定外来生物であるオオフサモが確認された。</p> <p>・魚類：現地調査の結果、2科3種が確認された。</p> <p>・両生類：現地調査の結果、1科1種が確認された。</p> <p>・昆虫：現地調査の結果、7科8種が確認された。</p> <p>・貝類、甲殻類：現地調査の結果、5科5種が確認された。</p>				
配慮すべき事項	<p>1. 水路に生息する生物への配慮 2. 特定外来生物の防除</p>				
配慮方針	<p>1. 希少種については、工事前に捕獲し、隣接する河川への放流について検討する。 2. 水路の一部に深みを設けた構造を持つ施設の設置について検討する。 3. 特定外来生物の防除について検討する。</p>				